

第16回協働実践研究会（10周年記念）報告

2021年2月28日（日）15:00-17:30（日本時間）、第16回協働実践研究会（10周年記念）がZoomによるオンラインにて開催されました。参加者は、事前申し込みが116名となり、当日はYoutubeでのライブ配信も行いました。開始日から2週間の間に116回の視聴数が得られ、日本国内外からのご参加に対応することができました。プログラムは、「世界に広がる協働実践：10年の歩みとこれから」をテーマとし、世界の各拠点報告&紹介（9か所）、日本の活動報告、自由討論（協働学習は国・地域を越えてどのように受容され、拡張していくのか）という内容でした。



世界の拠点報告では、まず、協働実践研究会の概要とこれまでの成果をまとめた出版本の紹介を池田玲子（鳥取大学）氏より説明がありました。続いて、中国（北京）（菅田陽平氏）、台湾（張瑜珊氏）、韓国（金志宣氏）、マレーシア（KL）（木村かおり氏）、タイ（スニーラット・ニャンジャローンストック氏）、インドネシア（アリアンティ・ヴィシアティ氏）、モンゴル（ナイダン・バヤルマ氏）から、海外各拠点におけるこれまでの活動報告がありました。また、近藤彩氏より、新拠点として、中国（成都）（倪虹氏）、ベトナム（フエ）（グエン ティー フォン チャー氏）の紹介がありました。



詳しい報告内容はこちらの出版本からご覧いただけます。

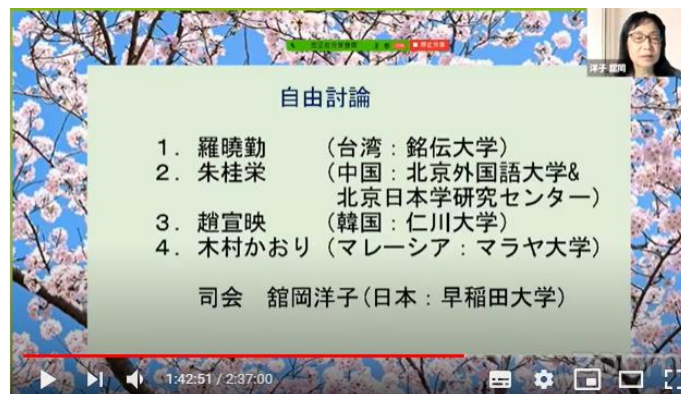
『アジアに広がる日本語教育ピア・ラーニング協働実践研究のための持続的発展的拠点の構築』
協働実践研究会 池田玲子編

<https://www.hituzi.co.jp/hituzibooks/ISBN978-4-8234-1088-8.htm>

日本の活動報告については、池田玲子氏より 10 年の歩みについて、6 つの観点から報告がありました。（「国内外の学会発表と講演」「海外の日本語教師研修」「専門日本語教育との協働」「他分野への発信と協働」「海外オンライン研修」「協働実践事例本の出版」）



自由討論では、館岡洋子氏（早稲田大学）の司会のもと、羅曉勤氏（台湾）、朱桂榮氏（北京）、趙宣映氏（韓国）、木村かおり氏（マレーシア）の 4 名の方から話題提供がありました。「協働学習は国・地域を越えてどのように受容され、拡張していくのか」をテーマに、それぞれの切り口からお話いただきました。



★第 16 回協働実践研究会「世界に広がる協働実践：10 年の歩みとこれから」

★開催日時：2021 年 2 月 28 日（日） 日本時間 15 時～17 時 30 分

研究会のオンラインでの開催は初の試みでしたが、世界の拠点のメンバーが一堂に集まって情報交換でき、これまでの 10 年とこれからを語る場が持てたことは大変有難いことでした。また、100 名を超える方からご参加いただき、研究会の具体的な活動について知っていただく機会となったのではないかと思います。事後アンケートには「世界各国での状況の共有ができてよかった」「協働の広がりを知ることができた」などの好意的なお声を寄せてくださいました。改めて御礼を申し上げます。開催にあたりまして多大なるご協力をいただきました世界各地の研究会の皆様、改めて感謝申し上げますとともに、またこのような機会が設けられることを期待しております。今回の研究会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

文責：金孝卿・小浦方理恵